

ガバメントクラウド以外の環境へ移行することに関する公表資料

令和8年3月12日

次の本市の標準準拠システムが、本市専用のクラウド環境（以下「本市プライベートクラウド」という。）へ移行するため、「デジタル基盤改革支援補助金（地方公共団体情報システムの標準化・共通化に係る事業）事務処理要領」（地方公共団体情報システム機構）に基づき、下記のとおり、国が整備した全国的なクラウド環境（以下「ガバメントクラウド」という。）を利用した場合との性能面、経済合理性等の比較結果を公表する。

香美市長 依光 晃一郎

記

1 標準準拠システム

システム名	取り扱う標準化対象事務
戸籍総合システム	戸籍
戸籍総合システム	戸籍附票

2 性能面等の比較結果

【性能面等比較表】

比較項目	本市プライベートクラウド	ガバメントクラウド
地方公共団体情報システムの非機能要件の標準（以下「非機能要件の標準」という。）に適合していること	○ 本市プライベートクラウドを利用した場合であっても、非機能要件の標準に適合することができる。	○
データセンターの物理的所在地が国内であること	○	○
情報資産の国外持ち出し制限があること	○	○
ガバメントクラウドとのデータ連携が可能であること	○	—
裁判管轄が国内で契約が日本法に基づくものであること	○	○

3 経済合理性の比較結果

【比較する経費の詳細】

- ・経費A・・・標準準拠システムを本市プライベートクラウドへ移行した場合の経費（契約額）
- ・経費B・・・標準準拠システムをガバメントクラウドへ移行した場合の経費（試算額）

【経済合理性比較表】

単位：円（税抜）

経費区分		経費A (契約額)	経費B (試算額)	(A-B)	
移行時の経費 (イニシャルコスト)	作業費				
	カスタマイズ費	0	0	0	
	環境構築費	12,110,000	14,110,000	▲ 2,000,000	
	データ移行費	4,580,000	4,580,000	0	
	他システム連携機能構築作業費	960,000	960,000	0	
	操作マニュアル作成・職員研修費	480,000	480,000	0	
	プロジェクト管理費	0	0	0	
移行時の経費（イニシャルコスト） 計		18,130,000	20,130,000	▲ 2,000,000	
移行後の経費※ (ランニングコスト)	作業費				
	システム運用作業	11,520,000	15,000,000	▲ 3,480,000	
	ハードウェア保守作業	0	0	0	
	その他外部委託費	0	0	0	
	作業費 計		11,520,000	15,000,000	▲ 3,480,000
	物品費				
	ハードウェア借料	0	0	0	
	ハードウェア保守費	2,400,000	2,400,000	0	
	ソフトウェア借料	0	0	0	
	ソフトウェア保守費	0	0	0	
	データセンター利用費	0	0	0	
	通信回線費	1,200,000	0	1,200,000	
	クラウド利用経費	15,960,000	19,199,999	▲ 3,239,999	
物品費計		19,560,000	21,599,999	▲ 2,039,999	
移行後の経費（ランニングコスト） 計		31,080,000	36,599,999	▲ 5,519,999	
合計		49,210,000	56,729,999	▲ 7,519,999	

※移行後の経費（ランニングコスト）は、5年分